

これで民主主義を語れるか 正副議会ポストの決定 20人が結託

古臭い「たらいまわし」人事

5月14日市議会臨時会が開かれ、例年の議会人事が決められました。生田綱夫議長、杉浦文俊副議長は、議会選出の監査委員を始め、正副議長、正副委員長ポストを、日本共産党2議員を除く、20人に事前に申し合わせて密約。水面下でたらいまわしをするという差別人事を行いました。

日本国憲法、地方自治法を守り履行する地方議会が、不正、不平等、非民主主義で、今期の議会がスタートすることは、子どもたちにも、胸を張って言うこともできません。市長の不正や市民いじめを、指摘し正す、チェック機能も果たせません。

日本共産党は、新たな役職で市民とともに、くらしと平和を守ります。道理と正義の通る碧南市議会へと尽力します。

正副議長他の結果

議長	神谷 悟 山口はるみ	(トヨタ自動車(株)勤務) 日本共産党	220票
副議長	藤浦 伸介 磯貝 明彦	日本共産党	220票
監査委員	石川 輝彦	(アイシン精機(株)勤務)	賛成19人 反対2人

日本共産党の主な役職	
山口はるみ	経済建設委員
	議会運営委員
	議会基本条例特別委員会委員
	臨海・北部産業対策特別委員
磯貝明彦	福祉健康委員

(令和8年5月14日現在)

議員定数22名

議長：神谷 悟 副議長：藤浦 伸介

種別	常任委員会			特別委員会		議会運営委員会	政治倫理審査会	会派代表者会議	政策討論会幹事会
区分(定数)	総務文教委員会(7人)	福祉健康委員会(8人)	経済建設委員会(7人)	議会基本条例推進特別委員会(7人)	臨海・北部産業地対策特別委員会(7人)	(7人)	(9人)	(8人)	(8人)
委員長	中西里江	高木洋和	柁宜田拓治	磯貝忠通	藤田宇哉	小林晃三	神谷 悟	神谷 悟	神谷 悟
副委員長	大竹敦子	鈴木みのり	生田 悠	森下敏弥	林田かなめ	杉浦文俊	藤浦伸介	藤浦伸介	藤浦伸介
委員	長崎章浩 岩月ひろし 生田綱夫 林田かなめ 石川輝彦	磯貝明彦 加藤厚雄 小林晃三 森下敏弥 藤田宇哉 藤浦伸介	山口春美 生田充夫 磯貝忠通 杉浦文俊 神谷 悟	山口春美 大竹敦子 藤田宇哉 生田 悠 杉浦文俊	山口春美 長崎章浩 中西里江 岩月ひろし 生田充夫	山口春美 加藤厚雄 高木洋和 柁宜田拓治 鈴木みのり	山口春美 加藤厚雄 小林晃三 岩月ひろし 生田綱夫 柁宜田拓治 鈴木みのり	山口春美 加藤厚雄 小林晃三 磯貝忠通 柁宜田拓治 鈴木みのり	山口春美 加藤厚雄 小林晃三 磯貝忠通 柁宜田拓治 鈴木みのり
(議会選出)一部事務組合議会議員及び広域連合議会議員並びに各種委員									
監査委員(1人)	愛知県後期高齢者医療広域連合議会議員		議会報発行編集委員会(8人)	会派及び役員					
石川輝彦			委員長 藤浦伸介 副委員長 生田充夫 委員 山口春美	名称 心政会(8人) 役員 会長 小林晃三 副会長 生田綱夫 幹事長 磯貝忠通 生田 悠 中西里江 高木洋和 藤浦伸介 林田かなめ	みらい市民クラブ(5人) 鈴木みのり 石川輝彦 杉浦文俊 藤田宇哉 神谷 悟	日本共産党碧南市委員団(2人) 山口春美 磯貝明彦	公明党(2人) 加藤厚雄 大竹敦子	翔政会(2人) 柁宜田拓治 森下敏弥	会派に属さない議員 長崎章浩 岩月ひろし 生田充夫
衣浦衛生組合議会議員(5人)	衣浦東部広域連合議会議員(3人)		大竹敦子 森下敏弥 藤田宇哉 中西里江 高木洋和						
加藤厚雄 森下敏弥 藤田宇哉 中西里江 林田かなめ	磯貝忠通 生田綱夫 鈴木みのり								

NPT再検討会議 アメリカ民主的社会主義者 (DSA) マルクス本著名者 核兵器廃絶・日米進歩勢力の連帯・理論交流—アメリカ・カナダ訪問

104年で初 志位議長が報告

日本共産党の志位和夫議長は16日、党本部で開かれた「大
学人と日本共産党のつどい」で講演し、「核兵器廃絶、日
米進歩勢力の連帯、理論交流—北米を訪問して」と題して、
米・カナダ訪問（4月23日～5月6日）の報告を行い、
現地でのエピソードもまじえながら熱く語りました。

インターネットでライブ配信され、全国で約5000人
が視聴しました。浜矩子・同志社大名誉教授が開会あいさ
つ（ビデオ）し、萩原伸次郎・横浜国立大名誉教授がコメ
ントを寄せました。

講演で志位氏は、今回の訪米は、

- (1) NPT再検討会議が、「核兵器のない世界」にむけて積
極的成果をおさめるよう働きかける。
- (2) アメリカ民主的社会主義者 (DSA) をはじめ米国の左
翼・進歩勢力と本格的な連帯の関係を築く。
- (3) 党の理論活動—とくに自由論の発展を踏まえた理論交流
—の三つの活動目標があったことを紹介しました。

締結国7割が賛同 「成果文書」案

NPT再検討会議の成功に向け、会議主催者、国連担当
者、各国政府に要請文を持って働きかけた活動を紹介。要
請文は、NPT体制が深刻な危機にある中、すべての締約
国が受け入れ可能でかつ積極的意義をもつ内容との観点か
ら4点（別項）にまとめた説明。とくに、核保有国にN
PT第6条の履行を強く求めることに力点を置いたと語り
ました。

要請は積極的に受けとめられ、「四つのポイントはずべ
て大多数の締約国がその方向で前進をめざしたい、同じ方
向だ」（再検討会議議長、ビエット・ベトナム大使）、「指
摘されたポイントには再検討会議のハート（核心）の部分」
（同会議第一委員長、クマー・ガーナ大使）、「まったく同
じようなものと考えています」（中満泉・国連事務次長）
—など、会議の当事者の思いにかみあったものになったと
報告しました。

核保有国の不履行、求めない被爆国日本

再検討会議の議論では、

- (1) 核保有国にNPT第6条の履行を迫り具体的行動を求め
る
- (2) 「核抑止」を安全保障に不可欠なものとする
- (3) 核兵器の「透明性」を高める、「核リスクの低減」が先
決—の三つの流れが見えてきたと指摘。核保有国による第

6条の不履行に対する批判が多く、非核保有国からあが
たことと合わせて、間違いなくいえる点として、
▽党の要請が会議主催者、国連担当者の努力方向と一致し、
世界の圧倒的多数の声となり党の野党外交の力が示され
ている

▽国際政治の表面だけをみれば、トランプ政権などの無法
な戦争が横行し「法の支配」は崩壊したように見えるが、
深部をとらえれば、理性の声が圧倒的多数。植民地体制
の崩壊と100を超える主権国家があり、世界の構造変
化の力が働いていると述べました。

米、左翼・進歩勢力との交流・連帯

代表団は米国内で、アメリカ民主的社会主义者 (DSA)
など左翼・進歩勢力と会話し、公式に連帯の関係を築きま
した。志位氏は、「きわめて大きな意義をもつ、訪問の重
要な成果になった」と強調。昨年のニューヨーク市長選
でマムダニ市長を誕生させたDSA指導部と会談したこと
を報告しました。

DSAとの会談で、マムダニ氏勝利に敬意を示すとも
に、「日米の左翼・進歩勢力が、今日を出発点にして連帯
を公的に確認し、双方が一致点で協力し、学びあう機会に
なれば、大変に素晴らしい」とあいさつ。DSAは指導部
から、東京・清瀬市長選勝利に敬意を示した上で、沖縄の
基地問題、核兵器廃絶に向けた運動、米軍の海外基地の閉
鎖・縮小などに加え、高い家賃の改善、無料保育、富裕層
への課税（タックス・ザ・リッチ）などについてDSA側
の参加者全員が積極的に発言したと紹介しました。

アメリカ基地撤去の希望

外国の米軍基地撤去など、アメリカ帝国主義をやめさせ
る根本問題が強調されたことは「大きな驚きだった」と語
り、「DSAが政権につけば日本の米軍基地全面撤去への
道が開かれる、『アメリカ帝国主義を終わらせる』革命的
な変革につながる」と述べました。その上で、

- (1) トランプ政権による無法な戦争に力をあわせて反対し、
国連憲章に基づく平和の秩序をつくる
- (2) 日米で進行している大軍拡に反対する
- (3) 在日米軍基地を撤去させ、対等・平等・友好の日米関係
をつくる
- (4) 「核兵器のない世界」の実現、核兵器禁止条約を広げる
—という四つの課題での双方の連帯を具体化することを確
認し、活動内容、理論・学習活動の交流でも一致したとし
ました。日本共産党への注目度、野党外交力はすごい。

アメリカ・イスラエルは
イラン攻撃の中止を

NO WAR

DIALOGUE

日本共産党

大軍拡・増税許すな
へきなん19行動
6月19日（金）
午前11時～12時 ヒアゴ碧南東店
碧南市東浦町6-17 日進小学校南

日本共産党発行

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 990円

碧南市会議員
団のホームページ
をご覧ください



日本共産党碧南市議団



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
磯貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253